

工友会報

発行所
 岡山県立岡山工業高等学校
 工友会
 岡山市北区伊福町4丁目3番92号
 編集責任者: 万波 学
 和気紀子
 印刷所: 株式会社サラト



ご意見、情報はこちらまで
 TEL 086-252-5231
 FAX 086-252-7130

災害に備える



工友会会長
山内 静男
 (昭和36年土木科卒)

工友の皆様方におかれましては、お元気で暮らしのこととお喜び申し上げます。昨年十月に母校岡工が百十周年を迎え、その記念事業が盛大に、また厳粛に行われましたが、関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

昨年三月に発生した東日本大震災の犠牲者に哀悼の意をささげますと共に、発生から一年が来るにも拘らず尚も避難生活を余儀なくされておられる皆様に、お見舞いを申し上げ一日も早い復興をお祈りいたします。

千年に一度とかの大規模の災害でしたが、安全神話に胡坐をかいた原発における放射能汚染など、予想もしていなかった結果で、避難生活を送らなければならぬなど、二重三重の困難に遭遇されています。

災害は忘れた頃にやってくるとも言われますが、昨年は一年中このような話題で、

日本国内のみでなく国外でも混乱したのではないのでしょうか。

また、九月ごろからの大雨によってタイにおける洪水と長期間の浸水騒ぎは、多数の日本企業が進出して操業しているだけに日本国内にも影響が出ているようです。

このニュースも毎日のように報道され、早期解決が図れることを祈るばかりです。

TPPの協議に参加したことが重要議題になるなど、環太平洋エリアのみならず話題沸騰でした。

県内のニュースでは、台風十二号、十五号が岡山市を通過したこと、児島湾周辺の地域で浸水したなど最近にない災害が発生しました。

明るいニュースは岡山湯郷ベルから、なでしこジャパンに選手二人が選抜され、ワールドカップサッカーで世界一になったこと、その功績で国民栄誉賞を受賞するなど活躍ぶりが素晴らしいものがありました。またその強化練習が湯郷でなされ、岡山が全国に有名になりました。

郷土愛、地域の自慢や出身母校の活躍など国体や、インターハイなど、活躍する在校生が新聞紙上に出るたびに誇りに思っています。

昨年の震災から、『絆』が大事にされ、日本人の相互に助け合う力が世界中で注目されています。

昨年の震災を契機に避難訓練が重要なこと、災害に備える心構えなど見直されています。

昨年の工友会総会は、県庁さくら会支部さんのお世話で大勢の参加者のもと盛会裏に開催されました。今年は市役所桜会支部さんのお世話で開催されます。大勢のご参加をお願いします。

最後に工友の皆様のご健勝とさらなるご活躍母校岡山工業高校の発展を祈念しご挨拶とします。

岡山県立岡山工業高等学校創立110周年



岡山県立工業学校開校式

開校から現在まで

1901年 岡山県立工業学校 創立
 (明治34年) 機械科 土木科 染織科(現在の化学工学科)の3科を設置
 10月10日に文部省(当時)より設立認可され、翌1902年10月10日に開校式を挙行。これにより、岡工の創立記念日は10月10日となっています。

2011年 岡山県立岡山工業高等学校 創立110周年
 (平成23年)



ご挨拶



校長 小林 清太郎

暖かな日差しを浴びて校庭の桜の蕾も日ごとに膨らみ、確かな春の訪れが感じられる季節となりました。工友会会員の皆様方には、益々ご健勝でご活躍のことと心からお喜び申し上げます。皆様方には、平素から母校教育活動の振興・充実に深いご理解と、物心両面にわたり多大なご支援・ご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

母校は創立百十周年の節目の平成23年度を終え、次の百二十年に向けて新たな歩みをはじめたところです。百十年に当たっては、10月7日（金）に岡山市民会館で挙行了した創立記念式典をはじめ、各種の記念行事等を生徒が中心となって実施しました。その際には、工友会の皆様方に物心両面にわたって多大なご支援とご協力を賜りましたことに、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、本誌面を拝借して学校の近況をご報告いたします。

平成22年度から機械科が2クラスとなり、7学科23クラスで学ぶ917名の生徒は、将来のスペシャリストを目指して、日々「ものづくり」の基礎的・基本的な知識・技術・技能の習得に励んでいます。

近年、特に力を入れて取り組んでいる技能検定では、平成23年度前期に普通旋盤3級・12名（昨年2名）、機械系保全作業3級・54名（39名）、電気系保全作業3級・13名（5名）鋳鉄

物鑄造3級・10名（0名）の計89名（49名）が合格しました。後期も38名の受検が予定されており、さらなる合格者の増加が見込まれています。

また、平成22～24年度の3年間、県教育委員会から「スーパーエンジニアロメントハイスクール研究開発事業」の指定を受け、土木科を中心に7科の生徒と教職員が協力して研究を進めています。このプロジェクトでは、校内に発生するシュレッダーダスト、コンクリート廃材、鋼材片等を取りサイクルして、コンクリート製品として再利用する技術を研究しています。平成22年度は伊島小学校の「校歌の石碑」周辺を小学生と協力して整備しました。平成23年度は、引き続き伊島小学校校庭の歩道を整備するとともに、伊島幼稚園へ再生コンクリート製のテーブルとイスを製作して設置しました。今後も校内の整備はもとより、近隣の幼稚園、小・中学校、公民館等から廃棄物を回収し、コンクリート製品としてお返しする予定にしています。

伊島学区や石井学区等の近隣地域との連携も次第に認知されつつあり、年を追う毎に連携の要請が増加しています。

奉還町については、平成20年度に7科が協力して製作した「小判君神社」の継続的なメンテナンス態勢を構築するため、平成22年度末に「小判君神社委員会」を設置して組織的な活動を開始するとともに、専門科や吹奏楽部等がイベントへ積極的にボランティアとして参加しています。

また、平成22年度末にはデザイン科3年生が伊島幼稚園の依頼を受けて、園名看板をデザインし贈呈しました。

建築同好会は、平成24年度に創立70周年を迎える鳥城高校からの依頼を受け、旧校舎の復元模型の制作に取り組んでいます。化学研究同好会は、12月に岡山県生涯学習センターで開催された「科学キッズフェスティバル」の展示・体験ブースに出展し、好評を得ました。機械科は、平

成23年度から課題研究の中で、市内の総合病院や公共施設を中心に「車イス整備ボランティア」を開始しました。

また毎年、化学工学科・デザイン科・建築科・電気科は石井小学校「ふれあいデー」で、児童に「ものづくり」を指導しています。このように、7つの専門科はそれぞれの専門性を生かして、地域との連携に積極的に取り組んでいます。部活動では、体育系20部・文化系7部と12の同好会に9割を超える多くの生徒が所属し、熱心に活動しています。平成23年度も県大会をはじめ、中国大会や全国大会等で多くの好成績を残しましたが、ここでは全国大会に絞って紹介させていただきます。

春の選抜大会は、3月に発生した東日本大震災の影響で中止になりましたが、夏のインターハイ・全国大会には、自転車競技部8名、弓道部6名、少林寺拳法部4名、陸上競技部3名、ボクシング部3名の計5部から24名が出場

しました。また、全国高等学校総合文化祭に写真部の生徒1名が出場しました。自転車競技部は、ケイリンの奥村君とチームスプリントの松岡・奥村・多田君が第1位になったのをはじめ、5種目で入賞するなど活躍しました。

自転車競技部は、6月に開催されたJOCジュニアオリンピックカップでも、奥村君がケイリンで第1位、多田君が1kmタイムトライアルと3000mタイムトライアルで第2位、三宅さんが女子2000m個人追い抜きと500mタイムトライアルで第1位と好成績を残しました。この結果、奥村君は8月にモスクワで開催されたジュニアトラック世界選手権大会に出場し、チームスプリントで日本ジュニア新記録を樹立し第7位に入りました。

国民体育大会には、自転車競技部3名、陸上競技部2名、水泳部1名の計3部から6名が出場し、自転車競技少年男子ケイリンで奥村君が2年連続で第1位、チームスプリントで第4位、1000mタイムトライアルで多田君が第5位、陸上競技少年男子走り幅跳びで王野君が第7位入賞と好成績を残しました。

また、日本ジュニア・ユース陸上選手権大会に陸上競技部4名が出場し、男子1000mで渡辺君が第5位、110m障害で岡崎君が第8位に入賞しました。

このように、生徒はものづくりを中心とした学習や資格取得と部活動を両立させ、先輩方から引き継いだ文武両道の精神で「誠実勤勉」に努力を積み重ねており、学校は生き生きと活動する生徒の活気が溢れています。お近くにお越しの際には、是非とも母校にお立ち寄りいただき、生徒や教職員を激励していただければ幸いです。生徒の活躍の様子はHPでも随時お知らせしていますので、ご高覧いただければ幸いです。

結びにあたり、工友会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。



小林校長式辞

工友会総会を終えて

岡山県庁さくら会支部

会長 吉永 知弘 (昭和四七年土木科卒)

東日本大震災から一年が経とうとしています。復興・復旧の槌音も聞こえはじめ、新たな国土の誕生が期待される所です。

開校百年の記念となる平成二十三年度工友会総会及び懇親会を平成二十三年七月十日(日)岡山プラザホテルにおいて、開催させていただきました。猛暑の中また、お忙しい中会員皆様方

のおかげさまで二百八名のご出席をいただき、記念にあたり盛会に開催することができました。何かと至らぬ点がありましたが、ご容赦いただきたいと思ひます。

今回は特色を出すため今までにない試みをしました。司会進行役(池田恵美：平成十一年土木科卒)、議長役(小川(旧姓：實光)あゆみ：平成十四年建築科卒)を県庁さくら会で唯一の女性会員に大役を担ってもらったことです。この役については、前年度の工友会総会からの想いでありました。彼女達は、初めての経験であり少々心配をしておりましたが、物怖じすることなく、返って水を得た魚のごとく自然体で対応しました。懇親会の席で、役員の方々からお褒めの言葉をいただき、後の反省会で皆大いに満足したところです。

最後になりましたが、学校事務局の先生方、各支部の皆様、「あじさいの会」の皆様、プラザホテルの方々をはじめ多くの方々のご協力により無事に総会・懇親会を終わらせることができました。担当支部を代表して御礼申し上げます。これからも工友会の益々の発展と会員皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。お礼の挨拶とさせていただきます。



平成24年度

工友会総会に向けて

岡山市役所支部 会長 松田 隆之 (昭和45年機械科卒)

暦の上には春は立ちながら、厳しい寒さが続いておりますが、工友会会員の皆さまには、お健やかにお過ごしのことと存じます。

来年度総会担当の岡山市役所支部(桜会)の会長として、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年10月には、母校の岡山工業高校が、明治33年の開校以来百十周年を迎え、記念式典が盛大にとり行われたところであり、長い歴史を支えていただいた先輩諸氏に対し、心から敬意を表する次第でございます。

私は、昭和45年3月機械科の卒業であり、卒業後42年を経過していますが、後輩のブラスバンド演奏により、校歌を歌っておりますと、当時の楽しかった運動会や、熱中していたクラブ活動がとても懐かしく思い出されました。

伝統ある岡山工業高校の卒業生として、誇りを持って仕事に携われたことに感謝するとともに、後輩の皆さまには、誠実勤勉の校訓の下、勉学とクラブ活動により得られた知識技能と強い精神力を生かし、次代を担ってほしいと願いました。

さて、我が桜会支部は、現在、119名の会員を持ち、総会に参加させていただくとともに、年2回程度の親睦会を開催し、日頃の情報交換に努めています。

来年度の総会にあたっては、母校及び、工友会役員の方々が、そして、各支部のご協力をいただき、盛会な工友会総会が開催できますよう努めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、会員皆さまのご健勝、ご多幸を祈念し、総会に向けたご挨拶とさせていただきます。



創立百十周年 記念式典

十月七日(金曜日)、創立百十周年記念式典が岡山市市民会館で挙行されました。多くの来賓を迎え、厳粛かつ盛大に創立百十周年を祝いました。

今回、式典の進行を生徒が行うことになり、生徒会副会長二名が立派に大役を務め、ご出席いただいた来賓の方々からお褒めの言葉をいただきました。

定刻十三時より式典は始まり、開式の辞、国歌斉唱、本校ゆかりの方々ならびに、東日本大震災や相次いだ台風による災害で犠牲になられた方々へ黙祷しました。

式辞として、小林清太郎校長が在校生に向けて、「技術者としての倫理観を備えた人間性豊かで思いやりの心を持った工業人としてこれからの地域社会や我が国、更には世界のものづくり産業を支える人材として育ててくれることを期待しています」と述べられました。



生徒会長挨拶



山内工友会会長挨拶



感謝状贈呈(山本鴻前工友会会長)

続いて、母校の教育推進にご功勞のあった関係者の表彰があり、工友会を代表して山本鴻前会長に、感謝状と記念品が贈られました。

その後来賓の祝辞に続き、山内静男工友会会長、保護者代表として、工友会員でもある加藤馨子奨学会会長から挨拶があり、最後に生徒代表として、廣政和也生徒会長が「目を社会に転じてみると、東日本大震災のことが頭から離れません。この大きな出来事によって工業高校で学ぶ私たちはこれからの復興について深く考えさせられました。そして、遠く離れた地で暮らす私たちにも何かできることがないのかと考えたとき、高校生としての本分を忘れず、仲間と支え合いながら、今現在を精一杯に頑張ることに尽きるのではないかとこのことに気づかせられたのです。私たち一人ひとりの力はちっぽけなものにすぎません。また、決して一人では生きていきません。しかし、友と切磋琢磨しながら勉学に励み、立派な工業人として活躍できるよう、日々努力を重ねることが今の私たちにできることではないでしょうか」と挨拶しました。

式の最後に岡山工業高校の更なる発展を誓い、吹奏楽部の演奏により、工友会員、生徒一同校歌斉唱でこの式典をしめくくりました。

創立百十周年記念講演

式典後に「デザインは公共のため」と題して、昭和41年、工業デザイナーを卒業された、工業デザイナーの水戸岡鋭治様にご講演をいただきました。数々のご功績のある氏から実体験を交えたご講演は生徒たちのみならず私たちも感動しました。特に鉄道関係の仕事に対しては、大人から子供まで利用する人々が、「あったらいいな」と思える物・時間・空間を作り出し、楽しい記憶に残るひと時を提供する心に感銘を受けました。最後に「そろそろ仕事を卒業したいと思っていたが、もう暫く仕事を続ける覚悟を決めて、東日本大震災の復興に何らかのお手伝いをしたい。皆さんと一緒に、清く・美しく・正しくという人・事・ものがあふれる町づくりをデザイン力を使って頑張りたい」と語られました。仕事に対する使命感を聞かせていただき、我々も自分の仕事に対する責任感。そして、復興にお手伝いをしなければという気持ちに改めて沸いてきました。



水戸岡鋭治氏による記念講演





□会場内で、110周年記念グッズのA4クリアファイルに入っている式次第を見ている生徒



□会場となる岡山市市民会館へ岡工から歩いて移動



(写真左から) 赤木副校長、加藤奨学会会長、山内工友会会長、水戸岡鋭治氏、小林校長、別府教頭

創立百十周年記念事業

1. 制服の一部変更

2. 施設設備の整備

- ・ 自動販売機頭上の電動テント
- ・ 工友会館シャワー等の改修など

3. 三年生の各クラスの「百十周年プロジェクト委員」とボランティア生徒による、校内案内図などの製作・整備

- ・ 岡工案内図の製作
- ・ 校内案内サインの製作
- ・ 岡工シンボルタワー、本館、中央廊下などの塗装整備など
- ・ 駐車場・駐輪場整備活動

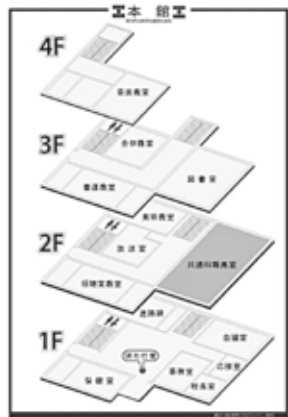
完成した岡工案内図・サイン



▲ 玄関(可動式岡工案内図)



▲ 岡工案内図



▲ 校内案内サイン



サイン計画



案内図の製作



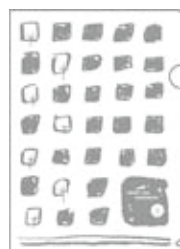
シンボルタワーの掃除

校内案内板などの製作・整備

110周年記念グッズ



コメコメクッキー



A4クリアファイル



エコバッグ



マフラータオル

支部だより



● 関東支部 ●

支部長
赤木 勤
(昭和30年工業化学科卒)

母校百十周年を迎えるにあたって感慨無量なものがあります。私は創立50周年記念事業で当時の岡山西高校庭で参加し岡山市公会堂で実施した記念講演会名古屋大学の坂田昌一教授の「最近の原子物理学」について聴講し百周年記念事業にも井上満関東支部長と岡山市市民会館に参加いたしました。

今回の百十周年記念事業の一環である記念講演工業デザイン科昭和41年卒業の水戸岡鋭治氏のお話を感銘を受けながら90分間聴かせていただきました。在校生によるすばらしい司会運営、九州新幹線のデザインをもとにした、「デザインを公共のために」と我々素人にもわかりやすく資料、デザインを使って解説していただきました。講演が終わった後全員から感動の拍手がしばらく鳴り止みませんでした。

岡山工業高校は1901年(明治34年)機械科、土木科、染織科の3学科で発足しましたが、今は機械科、土木科、化学工学科、建築科、デザイン科、電気科、情報技術科7学科が存在する総合工業高校に発展しました。

岡山工業高校が発足した明治34年は安部磯雄が社会民主党を結成発表後、結社禁止になり、足尾銅毒事件を田中正造が天皇に直訴した事件がありました。又八幡製鉄所が操業開始したのもこの年でありました。歴史の重み

を感じます。

関東支部は平成23年4月24日(日)例年通り支部総会を銀座アスターお茶の水資館で開催いたしました。

遠路工友会本部より山本会長、母校小林校長、万波事務局長公私共御多忙の折御出席いただきました。

今吉副支部長の司会で総会は次第通り進み山内工友会長の挨拶、大原事務局長の22年度会務報告、会計報告、土井監査の報告が承認されました。23年度予算(案)役員も承認され来賓の小林校長の学校状況報告、万波事務局長の創立百十周年事業の計画が報告されました。今年参加者は大原事務局長の努力で昨年よりは増えました。

乾杯の後懇親会に移行しお互い古里岡山の思い出を語り、最長老の秋山昌弘氏(土木18年卒前藤田観光社友)今も現役同様に世界的に活動されている話を聞きました。

最後に校歌を声高く皆んなで合唱し再会を期し総会を終了しました。来年度関東支部総会は2012年4月22日(日)銀座アスターお茶の水資館で開催されます。多数の参加者をお待ちしています。

最後に悲しいお知らせですが前支部長の板野尚武氏(土木25年)が9月亡くなられました。心より御冥福をお祈りします。

(2011年11月)



関東支部総会 銀座アスターお茶の水資館にて



● 大阪支部 ●
(岡友会)

事務局長
高橋 紀二
(昭和33年工業化学科卒)

工友会会員の皆様には、ご健勝でご活躍のことお慶び申し上げます。去る3月東日本大震災での工友会会員の皆様のご親戚、友人、知人の方で被災された方にお見舞い申し上げます。

第31回岡友会(工友会大阪支部)総会が平成23年10月22日(土)12時より大阪梅田「がんこ曾根崎本店」にて開催されました。約40名の方がご参集され、久しぶりの再会を楽しまれました。

総会には、ご多忙の中ご来賓として工友会山内会長、母校小林校長先生、工友会事務局長万波先生、岡山県大阪事務所長高橋様にご出席を頂きました。

総会は佐藤岡友会会長(土木科昭和32年卒)より、「在阪会員諸兄の交流の場として岡友会活動を続けて行きたいと考えます」との挨拶で始まりました。

山内会長からは、去る7月に工友会総会が「県庁さくら会」支部の担当で盛大に開催され、本部工友会活動の近況報告を頂きました。

小林校長先生より、経済環境厳しいなかで指導先生、学生諸君が「I-T関連技術」ですばらしい成果を出しているお話をまじえてのご



大阪支部総会 がんこ曾根崎本店

報告とご挨拶を頂きました。

万波先生(事務局長)より、「本部工友会会報の充実を図る」との話とともに東日本大震災へのボランティア活動、学校行事等をスクリーン上に映写し学生諸君の元気な姿を見せて頂きました。

三宅岡山県大阪事務所長より、大阪市中央区に岡山県大阪事務所があり岡山県の発展を期して関西方面で活動している等々のお話を頂きました。

総会開始前に幹事会が開催され、会計報告、取組事項、東日本大震災等について話し合われました。

「議事」に入り、岡友会事務局より会員動静等の事務報告、続いて会計収支報告、会計監査報告がなされ、報告内容が承認されました。

無事に総会を終え、藤田副会長の乾杯の音頭で懇親会に入り、会では還暦を迎えられた会員に「杯」を贈ることになっており、「建築科昭和45年卒」内田さん、小林校長先生に贈呈されました。

毎年のことながら、卒業年次、科別の違いはありますが同窓のよしみで、ご来賓の山内会長を囲み、家族、仕事、趣味、想い出話等に花が咲き、お屋の一時を楽しく過ごしました。

時が過ぎ、岡工校歌「東天燃える紅の…」を全員で意気軒昂に歌いあげ、お互い健康には十分留意して来年の再会を約し散会となりました。

第31回岡友会(工友会大阪支部)総会が無事終了したことを支部報告と致します。



● 広島支部 ●

支部長
服部 芳弘
(昭和29年土木科卒)

工友会の皆様にはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

広島支部におきましては、平成二十三年度工友会広島支部総会が六月四日(土)午前十一時より「ホテルセンチュリー21広島」にて開催されました。総会には山内工友会会長、母校より小林校長、万波事務局長のご臨席を賜り支部会員十四名が出席し開会いたしました。

総会では、ご来臨の皆様から工友会の活動状況と母校の近況、特にスポーツや文化活動を通じた地域への貢献等、後輩の活躍を聞き出席者一同にとりて大変頼もしく感じました。議事に入り平成二十二年度の事業報告と会計収支報告及び会計監査報告が行われ、承認されました。次に、平成二十三年度の事業計画と予算計画の審議を行い、全員一致で承認されて支部総会を閉会いたしました。その後、懇親会に移り服部芳弘支部長による乾杯の音頭で始まり、高校時代の

工友会会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。



広島支部総会 ホテルセンチュリー 21 広島にて

エピソード等々親睦を深め終始なごやかな時間を過ごし来年の再会を約し閉会いたしました。

その他支部行事としては、新年会を二月四日に十名、夏季親睦会を八月八日に八名参加し開催いたしました。また、ゴルフ仲間「岡広会」は、四月から十二月まで毎月第二木曜日を集まり親睦を図っております。今年度の取切戦は十月十三日に開催して、守時優氏(土4卒)が優勝されました。当会も十二月で第一百回を迎えました。支部会員の皆様のご参加をお待ちしております。

最後に、工友会の皆様のご健勝と母校のご繁栄をお祈り申し上げます。広島支部だよりといたします。



● 女性支部 ●
(あじさいの会)

支部長
鳥越 隼
(昭和33年工業化学科卒)

工友会会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

女性支部(あじさいの会)は第二十三回総会を、平成二十三年六月十二日に岡山駅前みよしのに於て開催しました。工友会より高原副会長、崎坂副会長、母校より万波先生のご臨席を賜り、出席二十名となりました。総会では、平成二十二年度事業報告および会計報告などが討議、承認されました。また、本年は役員改選の年に当り、理事二名・監事一名のご退任、大西淳子さん・長谷川泰子さんの理事退任、石野郁子さんの監事退任、その他役員の留任が、去云一致で承認されました。続いての懇親会では、自己紹介・近況報告など、初めてご参加の四名の方々をはじめ皆

で楽しく語り、部屋一杯に活けられた紫陽花を囲んで交流を深めました。

七月十日に岡山プラザホテルにて開催の平成二十三年度工友会総会には、当支部より十名が参加し、創立百十周年を迎える母校の先輩・後輩の皆様と楽しく親睦を深めさせて頂きました。終了後は場所を移し、崎坂副会長、坪井進理事を交えて歓談いたしました。



女性支部総会 岡山駅前みよしのにて

会報第五号を、十月一日に発行しました。今号も、初めてご寄稿の六名を含む十名の方々が誌面を飾って下さり、バラエティーに富

む充実した会報となりました。高原副会長をはじめ、昭和三十二年卒より平成十二年卒までの幾世代にも及ぶご寄稿により、皆様に懐かしさと元氣をお届け出来たことと思います。

十一月十二日開催の創立百十周年記念岡工祭には、例年の如く卒業生のための展示スペースを設けて頂きました。油絵・水彩画・アートフラワー・詩・備前焼など、多種多様な作品を、大勢の方々が熱心に鑑賞下さいました。この岡工祭の作品展示は、お世話にあじさいの会でいたしますが、ご出品は自由です。作品のジャンルは問いませんので、どうぞ今秋の岡工祭には協力頂きます様、よろしくお願ひ申し上げます。



岡工祭での作品展示

長年のご功績に対する栄えあるご受勲、
心よりお祝い申し上げます。

叙勲受章者
本年度春(平成二十三年度春)

- 瑞宝双光章 藤原通弘 (ふじわらみちひろ) 機械科39年卒
- 瑞宝双光章 矢木和光 (やぎかずみつ) 機械科19年卒

平成24年度工友会総会の案内

担当支部 市役所桜会

支部会長 松田 隆之

日 時 平成24年7月8日(日)10時より

場 所 岡山プラザホテル

電 話 086-272-1201



「工友会会報協力金」ご協力のお願い

早春の候、工友会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

工友会会報第53号が出来上がりましたので、お届けいたします。

平成18年度より、全ての会員の皆様に送付させていただいており、母校の現在の様子をお知り置きいただくと共に、会報が工友会の更なる活性化と皆様方の交流の場として役立つことを祈っております。

さて、工友会会報の発行をはじめとする本会の事業は、皆様方からの賛助会費や協力金によって成り立っております。これからも全員の皆様に工友会会報をお届けし、内容を充実させるためには、皆様方の温かいご支援とご協力が不可欠であり、ご厚志を賜りたくお願いする次第でございます。

つきましては、何卒趣旨をご賢察の上、同封の振込用紙にて「工友会会報発行協力金」(2,000円)の振込みにご協力いただきますようお願い申し上げます。

岡山県立岡山工業高等学校工友会会長 山内静男

工友会会報決算報告

平成23年度

発送数……………17,709件

入金件数……………1,200件

入金額……………2,458,000円

※会報発送事業も六年目を迎えています。皆様の温かいご支援で、この事業に関わるすべての経費をまかなうようにしています。今後も、会報協力金のご協力をお願いします。

工友会事務局

平成23年 校内行事



建築科棟裏の桜

工友会(同窓会) 入会式

卒業式を翌日に控えた2月28日(月)、3年生の工友会(同窓会) 入会式、各種表彰式を行いました。

工友会入会式には、ご多用中のところ、工友会役員6名がご出席下さり、代表して山内静男会長から歓迎のご挨拶をいただきました。新たに279名が、2万8千名を超える規模と陣容を誇る本校同窓会に加入することになりました。若い力で工友会を一層盛り上げてくれることを期待しています。

4月 入学式

桜の花が満開となった4月11日(月)に、平成23年度岡山工業高校入学式が盛大に挙行されました。
真新しい制服に身を包んだ320名の新

入生は、まず教室でクラス担任から日程の説明を受けました。それから担任に先導されて体育館に向かい、ご来賓・保護者・教職員に見守られながら吹奏楽の演奏と共に、やや緊張した表情で入場しました。



入学式

宿泊研修

1年生が、4月26日(火)・27日(水)と1泊2日の日程で、玉野スポーツセンターにおいて宿泊研修を行いました。

◀生徒代表入所あいさつ



◀クラス別ホームルーム



◀夕食



◀就寝準備



5月 球技大会

5月9日(月)、3日連続で雨予報の前日、またと無い好天に恵まれて、生徒会主催で全校の球技大会を実施しました。

種目は、ソフトボール、バレーボール、卓球、ドッジボールで、ソフトボールは男子のみ、バレーボールとドッジボールは男女別、卓球は一部男女混成。それぞれ学年ごとにクラス対抗で争われました。



バレーボール

6月 今年も到来 電2の暑い夏

第2種電気工事士の筆記試験は、6月5日(日)に岡山大学で行われ、2年生40名全員が合格しました。



創立百十周年記念 発輝祭

発輝祭が、6月6日(月)〜17日(金)の日程で始まりました。

この行事は文化部・同好会にとつて、岡工祭に次ぐ校内発表の機会となる、大きな行事です。開校百十周年の今年度は、例年にも増して力作が揃いました。

1号館2F 選択教室2



写真部・漫画総合研究同好会

玄関ロビー



美術部

エコ広場(ラグタイムパーク)



吹奏楽部演奏

7月
オープンスクール

7月28日（木）・29日（金）の午前中、中学3年生と保護者、中学校の先生を対象に、オープンスクールを実施しました。

28日は、中学3年生463名と保護者63名、29日は同じく437名と55名の参加がありました。7科のうち希望の2科の見学に参加して、実習内容の紹介を中心に、本校生徒や教員の説明を聞いたり作業をしてもらいました。



建築科



化学工学科



機械科



情報技術科



デザイン科



土木科

専門科	実習内容
機械科	溶接、旋盤、鋳造、エンジンの分解・組立実習
土木科	測量、CAD実習
化学工学科	人工カプセルの製作、七宝焼き、液体窒素体験
デザイン科	平面デザイン（VD）、立体デザイン（PD）
建築科	住宅完成予想図に着色する実習
情報技術科	プログラミング実習、2足歩行ロボット実習
電気科	未来電気カーの製作

10月29日（土）の、午前に体験実習を、午後に部活動オープンスクールを実施しました。午前の体験実習は、7月に実施した見学中心のオープンスクールを補うものとして、実際に各科の実習を体験し、学習内容を十分に理解した上で進路選択に役立てていただくことを目的としています。県内53の中学校から3年生146名の参加者があり、各専門科の主要な実習を体験してもらいました。

10月
中学生体験実習と
部活動オープンスクール



電気科



部活動見学

創立百十周年記念
第62回体育祭

10月4日（火）、百十周年記念第62回体育祭を開催しました。



入場行進



情報技術科 応援合戦

またとない爽やかな秋空のもと、生徒たちが若いエネルギーを発揮して、全力を尽くして競技し、勝負を超えて讃え合い、心ゆくまで楽しみ、各科はもとより全校の団結を強めました。また、例年にも増して多数の来賓・保護者の方々が、観覧にお越しくださいました。

開会式



創立百十周年記念式典

10月7日（金）の午後1時より、岡山市民会館において、本校創立百十周年記念式典を挙行了しました。

詳しい内容は4・5ページをご覧ください

創立百十周年記念に人文字を
作り航空撮影しました

式前には、吹奏楽部の華麗な演奏が行われました。式では、物故者に対する黙祷、校長式辞、教育委員会祝辞、感謝状並びに記念品贈呈、来賓祝辞、工友会・奨学会・生徒会のそれぞれ会長による挨拶、校歌斉唱などが行われました。

本校卒業生で、工業デザイナー・イラストレーターとして大活躍の、ドーンデザイン研究所代表 水戸岡鋭治氏による、『デザインは公共のために』と題した講演が行われました。

百十周年記念体育祭の一環として、体育祭翌日の10月5日（水）に、グラウンドに全校生徒で『OKAKO110』の人文字を作り、航空写真撮影を行いました。整列後にあいにく雨が降り始めましたが、なんとか撮影することができました。900名余りによる人文字は壮観でした。



修学旅行

10月18日(火)から3泊4日の日程で、2年生が待ちに待った修学旅行に出かけました。

名古屋・東京方面

- 10月18日 岡山(8:48)⇒(10:29)名古屋(火) ⇒科別研修⇒ホテル(掛川市)
- 10月19日 ホテル⇒横浜⇒両国(ホテル) ⇒都内自主研修⇒ホテル
- 10月20日 ホテル⇒都内班別自主研修⇒ホテル(両国)
- 10月21日 ホテル⇒隅田川クルーズ・浅草(金) ⇒東京駅⇒(18:21)岡山駅



東京ディズニーランド



浅草

- ・渋滞最悪!
- ・ディズニーランドの夜のパレードがきれいだった。
- ・お土産に人形焼きと芋ようかんを買った。



おきなわワールド



ウェイクボード(渡嘉敷島)

- ・沖縄美ら海水族館がきれいだった。
- ・ウェイクボードとドラゴンボートがおもしろかった。
- ・海がきれいだった。
- ・沖縄民謡のライブはおもしろくて、食事美味しかった。
- ・お土産に塩ちんすこうとシーサーを買った。

沖縄方面

- 10月18日 岡工(7:20)⇒岡山空港⇒那覇⇒(火) 渡嘉敷島⇒島内観光⇒ホテル
- 10月19日 ホテル⇒コース別体験学習・遊泳(水) ⇒ホテル⇒那覇⇒ホテル
- 10月20日 ホテル⇒水族館・海洋博記念公園・(木) 万座毛・おきなわワールド⇒ホテル
- 10月21日 ホテル⇒那覇市内班別自主研修(金) ⇒空港(飛行機)⇒(18:00)岡工



機械科3年模擬店やきとり3年生模擬店の部優勝



デザイン3年模擬店チーズボール



機械科2年A組 The げーせん

11月12日(土)に開催しました、創立百周年記念第62回岡工祭一般公開には、非常に多数の方が観覧にお越しください、大変にありがとうございました。

本校創立百周年の記念の年にふさわしい発表をご覧いただけたように思います。幸いにも好天に恵まれ、多くの方々にご覧いただいたことで、生徒達も充実感を得て、集団の団結を強めるとともに、今後の学業や人生の大きな糧とすることができました。



岡工祭ポスター

11月 創立百周年記念岡工祭



- 生徒会長 藤原 宝(電2)
- 副会長 松田 明久(電2)
- 上村 遥菜(テ1)

第63期生徒会役員(会長1名・副会長2名)の選挙が行われ、承認されました。

第63期生徒会役員選挙



図書委員会



化学工学科1年 サイエンスショー



デザイン科2年 ダンス(体育館)

思い出

岡工創立百十周年を迎えて



平田 稔
岡工土木科36年卒
岡工土木科教諭

岡工の創立百十周年を迎えておめでとうございます。私自身の岡工の歩みを振り返りかえってみます。私は昭和33年に本校土木科に入学しました。岡工土木科に合格した時の感激は、今も忘れる事はできません。岡工の土木科が設置されたのは県立では最初だと聞いています。私も含めて卒業生は校訓の誠実勤勉をモットーに、全国で活躍されています。また岡工は自由な校風のもとで生き生きとした学園生活を送る事ができました。在学中の昭和35年の秋に東古松校舎から現在の伊福校舎へ、南方校舎と統合し移転しました。東古松校舎より私達生徒自ら机や椅子を運んだのを昨日の様に覚えています。したがって私達36年の卒業生は本校伊福校舎の一期生になります。したがって誇りになっています。

そして、ありがたい事に、その後48年4月に母校である本校に教諭として、赴任しました。以来本校で平成15年3月の退職まで30年間、無事に勤務する事ができました。ふりかえると、春になると通称岡工桜、土木桜（51年に岡山県庁の職員で作るさくら会から桜50本寄贈）見事に、桜花爛漫と咲き、新年生、在校生、保護者、工友会、教職員を心豊かに和ませてくれました。また、岡工祭、体育祭の応援合戦、新入生宿泊研修・クラス旅行・修学旅行・19回の東工戦、また東工戦事

件・津山事件等苦しい思い出や楽しい思い出が一杯あります。そして今は岡工・工友会・先生方・卒業生のおかげで、(株)ランデスの参与として、岡山大学環境デザイン共同研究員として元気に勤務しています。

在職中に一番に残っている事は57年の卒業生です。卒業式を終えて、教室に入り一人一人にコメントをつけて卒業生に卒業証書を渡しました。終了後クラスの代表が教卓の前に出て来てあいさつをしました。3年間ありがとうございましたと言ったクラス全員で仰げば尊しの歌を保護者と一緒になって合唱してくれた事です。感激しました。退職してはや10年近くなります。土木を取りまく環境はきびしさを増すばかりです。クラスも2クラスから1クラス40名になった様です。しかし土木科の使命として、今日の日本の復興・発展に寄与する卒業生がたくさん出る事を祈っています。岡工創立百十周年を記念して岡工に常に栄えあれと！

岡工での日々

機械科H19卒（第58期生徒会長）

榎 祐太郎

工友会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

岡山工業高校を卒業してから早4年。このような形で再び母校に携わることができたことを、大変嬉しく思います。

岡工で過ごした日々は今でも印象深く残っています。その中でも特に印象に残っているのは、機械科での生活と生徒会活動です。

私が在学当時の機械科は1学年80名で、生



徒も先生も皆個性的で非常に楽しい学年でした。朝のホームルームが始まってから教室に入ってくるやつ。登校から下校までいじられ続けているやつ。バスケのことばかり考えているやつ。旋盤をしながら寝るやつ。ここには書ききれないぐらい個性に溢れたクラスでしたが、ここぞという時にまとまる良いクラスでした。あの賑やかでやましましい日々は、私の岡工生活をとても愉快で楽しいものにしてくれました。

放課後は生徒会活動に勤しみました。

私が在籍した第58期生徒会執行部はとても結束力が強く、皆一丸となって学校行事の企画運営に勤しみました。その行事の中で、未だに鮮烈な印象を残しているのが、2007年岡工祭オープニングセレモニーです。私達はセレモニーの一環として、体育館ステージ上で有志5名による創作和太鼓を行いました。当時体育館にいた皆様は覚えていただいているでしょうか？最初の一声で渾身の一打を打ち、静まり返った体育館に太鼓の音だけが響いた瞬間。あの瞬間の感覚を私は一生忘れません。大きな事を成し遂げた時の感動を忘れません。岡工祭を盛り上げる為、みんなの為に作ったものが、今となっては自分達自身にかけがえない経験として残っています。支えてくれた多くの生徒・先生・そして卒業生にこの場を借りてもう一度感謝の気持ちを伝えさせていただきます。本当に有難うございました。

この記事を書くという縁によって、疎遠になっていった岡工と再会することができました。これから私の人生にどう岡工が関わってくるのか楽しみにしています。

最後になりましたが、母校岡工と工友会の益々の発展、そして会員皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

同窓会便り

思い出

機械科昭和37年卒

上井 平二郎

昭和37年卒、機械科卒業50周年記念同窓会を、平成24年1月3日メルパルク岡山で行いました。恩師6名と県内外から卒業生40名出席のもと、誕生から卒業当時の写真アルバムビデオを見ながら、当時の思い出を語り盛り上がりました。

在校中に学校創立60周年 統合新校舎落成記念式典が行われ、教室棟横には大きな煙突が有り、授業中解体されるのを窓越しに見ていた事を思い出します。同窓生の多くは年金暮らしの生活ですが、今も現役で外国航路の水先案内人や会社経営で頑張っている人もいます。当時の機械科科長で大正生まれの黒田二郎先生からは「君たちは、まだまだ若い、これからも社会の為に頑張って行ける」と励ましのお言葉を頂きました。

同窓生は今年多くの者が古稀を迎えますが、「七十長寿の初歩よ、さても遙かな天寿のお山」と考え、出席者の健勝と何時か何処かで会いましょうと、校歌を全員で合唱し散会しました。

力者事務協会の協力を得て、同窓会を主催し、会費を38,033円としました。協賛金を集め、会場をメルパルク岡山としました。当日は多くの同窓生が参加し、思い出を語り盛り上がりました。



受賞しました

平成24年1月10日、第70回山陽新聞賞文化功労に神崎宣武氏・水戸岡鋭治氏が受賞されました。

神崎宣武氏(工業デザイン昭39年卒)は2010年、岡山開催の国民文化祭の総合プロデューサーを務められました。アジアを中心に陶磁器や食文化、旅など幅広く研究される民俗学者で、近年は岡山県の地域リーダー育成にも尽力されています。

水戸岡鋭治氏(工業デザイン昭41年卒)は九州新幹線「さくら」の設計を始めとしてJR九州のリゾート列車や同社の駅舎など幅広く携わっています。国際的な鉄道デザインコンテストのブルネル賞最優秀賞4回受賞されるなど活躍されています。岡山県では路面電車「MOMO」やJR岡山駅西口バスセンターなど多くの施設や乗り物に携わっています。また、大阪ステーションシティや富山の観光列車「アルプスエクスプレス」などのデザインに携わっています。



左) 神崎宣武氏 右) 水戸岡鋭治氏
受賞後撮影

図書館がリニューアルしました。



HPより



記念グッズを活用している様子

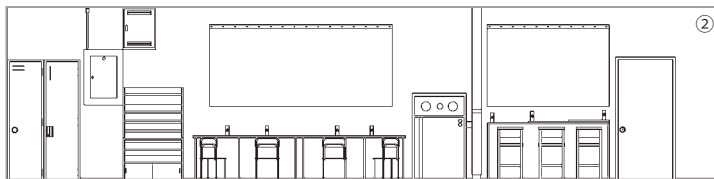
白い壁に調和する色、書体、サイズなど、まずは図書館の全体のデザインコンセプトについて、司書の先生にお話を伺いながら検討していきました。そして、図書館の資料からアイデアをもらい、前回のサインをもとにスケッチ・ラフモデルを製作しながら実際に図書館に掲示して検証するという作業を繰り返し制作しました。

白い壁に緑が映える自然な空間になりました。

今年度もデザイン科3年生の生徒が、引き続き、図書館前の廊下を作品展示スペースとして制作しています。完成を楽しみにして下さい。



図書館前廊下完成予定①②



図書館前廊下
生徒の作品を展示



平成22年度卒業生

整備委員会が東日本大震災の義援金募金活動

生徒会整備委員会が校内で、東日本大震災の義援金募金活動を行いました。募金箱を各クラスに設置し、それぞれの整備委員の管理のもとで募金を受け付けました。たくさんさんの義援金が集まり、委員一同、クラスや全校生徒の温かい気持ちに触れることができました。寄せられた義援金は、日本赤十字社岡山県支部を通じて被災地に届けました。

図書館のペンキ塗り、サイン計画など、現在のベースとなる企画を考えてくれました。

「ありがとうございました。」



「創立百十周年記念に

懸けた想い。」

第62期生徒会長

電気科3年 廣政 和也

ちょうど一年前のこの時期、私は「生徒会長とは何なのか、どうあるべきなのか。」を考えている頃でした。私が、今まで生徒会長に対して抱いていたイメージは、真面目で、誠実で、成績優秀、まるで完璧な人物であると思っていました。創立百十周年記念の年ということもあり、私もそんな生徒会長でいよう。常にそう思い続けながら生活していました。しかし、思えば思うほど上手くいかず、むしろ自分らしさを無くしていこうとする自分がいました。みんなの理想とする生徒会長に追いつけなくて、本当に生徒会長が務まるのか、と思うほど悩みました。

そんな私に手を差し伸べてくれたのは、仲間でした。「完璧じゃなくていいよ。」「廣政らしく。」などの声を掛けてくれた友達や先輩後輩のお陰で心が楽になり、私なりの目標が出来ました。それは、「生徒目線で生徒会を見て、生徒が心から楽しめるような行事をつくる。」です。

私は、生徒会行事は毎年同じことを行っていて、「挑戦」が足りないと感じていました。そこで、岡工の歴史にも残ると共に、岡工生の一生の思い出となる様なことがしたいと思い、記念岡工祭では特別企画を企てました。その企画は、私達の想像をはるかに超える盛り上がりを見せ、私の目標が達成された瞬間でした。

岡工祭が成功するためには、まず自分の視野を広げることから始まりました。そしてそこには生徒一人ひとりの努力がありました。私の意見を嫌な顔一つせず協力してくれた執

行部員や有志の皆さん。岡工生全員の成功させたい、「良いものをつくりたい」という想いが、地域の人々までも楽しませることができたのだと思います。

今年度は、本当にいろいろなことを考えさせられる一年でした。創立百十周年記念、過去から今まで受け継がれてきた伝統、精神、ものづくりの心を未来へ繋げることを志してきました。そして、東日本大震災、「高校生の私達にできること」を題に岡工生としてできることは何か？と常に問いかけながら生活してきました。私はこの一年を通して、岡工はさらに進化・成長したと思います。なぜなら、自分達がすべきこと、何を、何の為に、どのようにしていくべきなのかを見出すことができ、ものづくりの大切さを大いに学べたと思うからです。そんな日々成長していく岡工が、十年、二十年と今のようにあり続けて欲しいと心から願っています。

最後になりますが、この由緒ある歴史を持つ岡工に入学できたこと、そして生徒会長として一生の宝となる経験をさせてくれた先生方と、岡工生全員に感謝しています。本当に、ありがとうございました。

後輩の活躍

電気科3年 大野 航弥

現在、本校の近くにある奉還町商店街に、2年前の先輩が製作した「小判君神社」という作品を置かせていただいています。小判君神社は、商店街活性化のために製作された作品で、本校にある7つの専門科の特色を活かして製作されたものです。その作品の前で手を叩くと、音センサが反応し神社の扉が開いた後、おみくじルーレットが起動するという

装置を備えた神社です。

しかし、昨年3月に「故障したので直してほしい」という依頼があり、先輩方が製作した作品を無駄にはしたくないという強い意志で、「小判君神社委員会」が発足しました。

メンバーは、7つの科から集まり修理メンテナンスの状況により対応しています。今年度は、電気科・デザイン科を中心に春休み中に作品を分解し、電気回路を一から配線し直し、動かなくなった原因を究明しました。そして、電源回路を新たに追加し、神社のクリーニングなども行いました。現在も継続的な保守、メンテナンス等の活動を行う中で、地域連携を図るよう努めています。

この活動が評価され、先日、岡山西警察署の方から善行少年表彰を受けました。

私は、この活動を通して身に付けた知識・技術を糧にして今後、自分の将来に活かしていきたいと思っています。



善行少年表彰

山岳部

機械科2年 西崎 昴太郎

現在、山岳部では2年生10名、1年生6名の16名で活躍しています。活動内容は、基礎

体力増加と足腰強化を目的としたランニングや階段ダッシュ、山登りを行っています。また、ロッククライミングの練習として就実高校のロッククライミングウォールに行っている活動もあります。登山競技には、荷物を背負って山中を走る「縦走」と荷物を背負って山中を歩いて登山道に置かれたポイントの地点を正確に地図に記入していく「踏査」と呼ばれる2つの競技があります。他にも特区というチームで山の中を走りタイムを競うものもあります。先日行われた登山秋季大会では、備前の能山で「縦走」と「踏査」の競技がありました。僕は、この大会は初参加で知識がありません。僕は、この大会は初参加で知識がありません。僕はいない状態での参加で入賞できたらいいなと思っていましたが、先生方の応援や仲間たちの頑張りを見て僕も粘り強く最後まで戦うことができて優勝することができました。この大会は、僕の思い出に強く残るものになると思います。この大会は個人戦でしたが、登山は基本的に団体行動なので、練習を積み重ねると同時に、決して崩れない強固なチームワークを築き上げ、インターハイ出場を目標に日々努力していきたいと思っています。



岡山県高等学校秋季登山大会

校外活動 伊島小学校歩道整備事業

土木科3年 中島 涼

私は1年間、課題研究で学校内の廃棄物を再生利用する研究を行ってきました。そこで伊島小学校から、校内の歩道の一部が長年にわたる車両の通行、降雨による軟弱化で最大15cm沈下し、児童が通行する際にはすべりやすくなっている。この状況を改善してほしいという依頼を受けました。そこで私たち研究班は、再生コンクリートで歩道版(インターロッキングブロック)の製作を行い、歩道下に暗渠排水を設置した歩道を新設する工事を行うことにしました。最も苦勞したことは、景観に配慮し、色の異なる3種類の歩道版を製作したことです。この工事は想像以上に大掛かりで度々、壁におつかることがありましたが、歩道が完成した時は大きな達成感があり、改めて土木のすばらしさを感じることができました。今後はこの経験を活かし社会貢献や環境について深く考えたいと思います。



石井小学校「ふれあいデー」で
本校生徒がものづくりを指導
P.T.A活動「ふれあいデー」が開催され、
平成23年10月22日(土)、石井小学校の

本校の生徒がものづくりの各講座の指導を行いました。(建築科・住宅模型づくり、デザイン科・アクセサリーづくり)



化学工学科
アクセサリー・スライムづくり
電気科
ビー玉発電機・イライラ棒づくり

カンボジア王国教育青少年スポーツ省 スタディツアーの一行が本校を訪問

12月7日(水)、カンボジア王国からナット・ブンルン次官をはじめとする教育青少年スポーツ省スタディツアーの一行10名(JICA職員2名を含む)が本校の視察にられました。



機械科にて

東日本大震災

ボランティア活動報告

工友会事務局 万波 学

4月29日～5月5日、日赤岡山県支部の第二陣として、宮城県気仙沼市唐桑町小鯖地区の瓦礫撤去を5日間行いました。行方不明者6名、避難生活者が100名を超えるという集落がほぼ全滅する甚大な被害のあった場所です。活動場所へ向かう道中は至る所の道路に亀裂が入り震災の凄さが感じられ、飲水・食料すべてを持ち込み、グラウンドに建てたテントの中で食事を作り生活する完全な自己完結のボランティア活動を行いました。二回目は震災から5か月頃の8月2日～9日まで岩手県遠野市で倉敷ボランティアバス後期8班として、市が借り上げている公民館に寝泊まりし、「遠野まごころネット」というボランティアセンターの指示のもと陸前高田市で瓦礫やゴミの片付けをし、釜石市箱崎地区の個人住宅の瓦礫や土砂の撤去、そして大槌町の曹洞宗江岸寺で火災による熱や津波で破壊・倒壊している墓地の泥出しや瓦礫の撤去を行いました。被災地では仮設住宅の生活が始まっていますが、復興には長い年月が必要です。まだまだ、被災地は復興していません。支援活動はこれからも必要なのです。



宮城県気仙沼市唐桑町小鯖地区



岩手県釜石市箱崎地区



部活動集合写真

後輩の活躍 2011

各料の入賞

- 機械科**
- ・第28回全国製図コンクール 最優秀特別賞 田中 翔大(3年)
 - ・岡山県職業能力開発促進大会 最優秀賞 田中 翔大(3年)
 - ・3級製造 金賞 田中 翔大(3年)
 - ・3級製造 銀賞 増田 智之(3年)
 - ・3級製造 銅賞 伊吹 和弥(3年)
 - ・3級機械保全 銀賞 伊賀 仁人(3年)
 - ・3級機械保全 銅賞 遠太(3年)
 - ・3級製造 難波 翼(3年)
 - ・3級製造 林 拓馬(3年)



- 機械科(自転車競技部)**
- ・社団法人全国工業高等学校長協会主催 第9回高校生技術・アイデアコンテスト全国大会 最優秀賞



- 土木科**
- ・第47回岡山県測量技術競技大会 平板測量の部 優勝
 - ・岡山県高等学校工業教育協会主催 2012高校生テクノフォーラム 優秀賞
- デザイン科**
- ・統括根絶キャンペーンポスターコンクール 最優秀賞 加藤安希絵(1年)
 - ・優秀賞 妹尾 明歩(2年)
 - ・佐々木 瞳(1年)
 - ・覚せい剤など薬物乱用防止啓発ポスター 知事賞 浜家 美貴(3年)
 - ・第6回全国高校生アートビジュアル 加計美術賞 浜家 美貴(3年)

- 建築科**
- ・暴走族追放啓発ポスターコンクール 警察本部長賞 三嶋 奈苗(2年)
 - ・第47回岡山県高等学校工業教育協会 建築系部会設計製図競技会 優秀賞 竹山 紀子(3年)
 - ・佳作 片山 静(3年)
 - ・住作 石田 和美(3年)



- 情報技術科**
- ・岡山県職業能力開発促進大会 2級機械保全 銅賞 石岡 匠也(3年)
 - ・3級機械保全 銀賞 西岡 悟(3年)
 - ・3級機械保全 山室 勇介(2年)

- 電気科**
- ・平成23年度高校生ものづくりコンテスト 電気工部門門岡山大会 1位 宮本 大正(3年)
 - ・2012ジャパンマイコンカーラリー 中国大会 9位 大饗 政典(3年)
 - ・岡山県高等学校工業教育協会主催 2012高校生テクノフォーラム 最優秀賞



- 陸上競技部**
- ・陸上競技第2回県記録会 110mジュニアハードル 1位 岡崎(2年)
 - ・110mハードル 1位 太田(3年)
 - ・陸上競技第44回県高校選手権大会 4x100m 橋本(3年)・渡邊(2年)・1位 王野(2年)・佐々木(2年)
 - ・第59回岡山県新人大会 兼 中国高校新人大会県予選会 100m 1位 渡邊(2年)

- 自転車競技部**
- ・JOCジュニアオリンピックカップケイリン 優勝 奥村 諭志(3年)
 - ・1kmタイムトライアル 2位 多田 晃紀(3年)
 - ・2kmインディビジュアルパシフィック 優勝 三宅 玲奈(1年)
 - ・インターハイ チームスプリント 優勝(大倉新記録)
 - ・松田 陽平、多田 晃紀、奥村 諭志
 - ・世界選手権(ロシア・モスクワ) 7位(日本新記録) 奥村 諭志(3年)
 - ・国民体育大会 ケイリン 優勝 奥村 諭志(3年)
 - ・日韓対抗学生自転車競技大会 1kmタイムトライアル 2位 奥村 諭志(3年)
 - ・チームスプリント 優勝 奥村 諭志(3年)
 - ・500mタイムトライアル 3位 三宅 玲奈(1年)
- ボクシング部**
- ・岡山県級別 優勝 金中 竜児(2年)
 - ・ライトウェルター級 優勝 道廣 湧(3年)
 - ・ウェルター級 優勝 梁本 凌司(2年)
 - ・学校対抗 優勝 梁本 凌司(2年)
 - ・中国ボクシング選手権大会 フライ級 優勝 金中 竜児(2年)
 - ・ライトウェルター級 優勝 道廣 湧(3年)
 - ・ウェルター級 優勝 梁本 凌司(2年)
 - ・学校対抗 優勝 梁本 凌司(2年)
 - ・国民体育大会中国ブロック大会 フライ級 優勝 金中 竜児(2年)
 - ・岡山県新人大会 フライ級 優勝 金中 竜児(2年)
 - ・パンタム級 優勝 國塩 智史(2年)
 - ・ウェルター級 優勝 梁本 凌司(2年)
 - ・中国新人大会 フライ級 優勝 金中 竜児(2年)
 - ・ウェルター級 優勝 梁本 凌司(2年)
- 弓道部**
- ・第34回岡山県高等学校弓道選手権大会 男子団体戦 2位 亀山(2年)
 - ・男子個人戦 2位 西杉(3年)
 - ・女子個人 2位 西杉(3年)
 - ・第59回岡山県知事杯弓道大会 男子団体 2位 西杉(3年)
 - ・女子個人 2位 西杉(3年)

- 山岳部**
- ・岡山県高等学校秋季登山大会 縦走 踏査 優勝 西崎昂太郎(2年)
- ラグビー部**
- ・第46回岡山県高等学校ラグビーフットボール選手権 Bブロック 1位
- 水泳部**
- ・第54回岡山県新人大会 100m自由形 1位 川住(1年)
 - ・200m自由形 1位 中川(1年)
- 少林寺拳法部**
- ・第22回岡山県高等学校少林寺拳法新人大会 男子団体 1位
 - ・男子組演武 2位 岩本・高山(2年)
 - ・女子組演武 2位 小林・安孫子(2年)
 - ・女子単独演武 1位 脇本(1年)
- 卓球部**
- ・岡山県高校総体卓球競技会 男子学校対抗の部 団体戦 ベスト4
- 柔道部**
- ・第61回岡山県高等学校柔道優勝大会 男子個人戦 3位 角田(1年)
 - ・女子個人戦 3位 宮本(2年)
 - ・黒田(1年)
- バスケットボール部**
- ・第42回バスケットボール全国高校選抜大会 岡山予選会 準優勝
 - ・岡山県高校総合体育大会 3位
- 空手部**
- ・第38回岡山県高等学校空手道新人大会 男子団体組手 第3位
- 写真部**
- ・第28回岡山県高等学校写真協議会 推薦 岡本 成生(2年)
 - ・飛開原美保(1年)
 - ・加藤安希絵(1年)
 - ・白神はる香(1年)
- 吹奏楽部**
- ・第52回岡山県吹奏楽コンクール 小編成の部 金賞
- 美術部**
- ・高校生美術コンクール 金賞 浜家・水本(3年)
 - ・銀賞 佐々木(1年)
 - ・第44回高等学校美術展 特選 浜家(3年)
- 演劇部**
- ・岡山地区大会 優秀賞
- 囲碁・将棋部**
- ・第31回岡山県高等学校囲碁選手権大会 男子個人戦 2位

編集後記

関係者多数のご協力をいただき、創立百十周年記念行事を始め、第53号の会報を無事発行することができました。寄稿いただきました皆様方には、厚くお礼申し上げます。今年度の創立百十周年記念岡工祭では、1,800名を超える来場者で生徒・教員一同喜んでおります。校内は人であふれ、各クラスの特徴を活かした展示・発表を楽しんでいる様子が見え、各々が活躍の場をもち、学校がよりよくなりました。3年生の百十周年プロジェクト委員とボランティアにより、校内美化・校内案内図等も製作されて環境整備もされているので是非お立ち下さい。また、誌面充実のため各地の話題・会員の話・同窓の報告などがあり、同窓会への報告などがありました。お知らせ下さい。今後ともよろしくお祈りいたします。



ご意見・情報 お問い合わせは...

〒700-0013 岡山市北区伊福町4-3-92 岡山県立岡山工業高等学校

工友会事務局

tel:086-252-5231 fax:086-252-7130 http://www.okako.okayama-c.ed.jp/